

2026年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社
Chief Financial Officer
萩本 仁

2026年2月13日



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト：業績予想の想定を上回る力強い決算

■ 売上収益

- 四半期、Q3累計ともに過去最高を達成
- 北米が牽引し好調な売上が継続、為替影響を除いて+9%の伸長

■ 利益

- 営業利益・調整後営業利益・当期利益の全てにおいて、Q3累計として過去最高
- 価格政策と適切な費用コントロールにより、業績予想の想定を上回るペースで推移

P&L, FCF実績

- 売上収益：北米を中心に、TIS、グローバルブラッドソリューションが牽引
- 営業利益：Q3から関税影響をフルで受けるも、Q3累計の利益率は前年を上回り、売上成長を上回る伸長を達成

金額（億円）	FY24 Q3累計	FY25 Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	7,722	8,316	8%	9%
売上総利益 (%)	4,221 (54.7%)	4,457 (53.6%)	6%	7%
一般管理費 (%)	2,257 (29.2%)	2,433 (29.3%)	8%	9%
研究開発費 (%)	554 (7.2%)	518 (6.2%)	-7%	-6%
その他収益費用	-76	-57	-	-
営業利益 (%)	1,335 (17.3%)	1,449 (17.4%)	9%	11%
調整後営業利益 (%)	1,593 (20.6%)	1,735 (20.9%)	9%	12%
税引前利益 (%)	1,318 (17.1%)	1,466 (17.6%)	11%	
当期利益 (%)	986 (12.8%)	1,095 (13.2%)	11%	
フリー・キャッシュ・フロー	939	-1,738	-	

期中平均レート(USD/EUR)

153円/165円

149円/172円

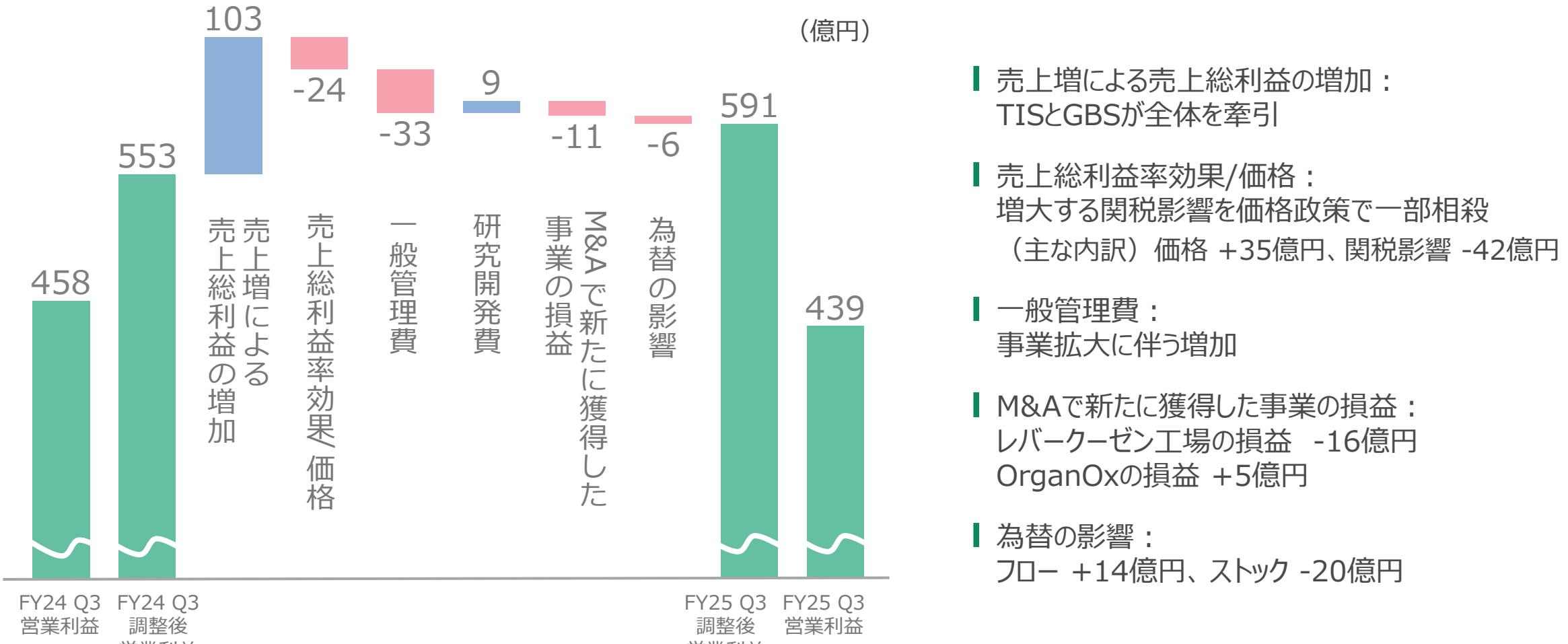
	FY24 Q3	FY25 Q3	増減率
	2,636	2,966	13%
	1,451 (55.1%)	1,532 (51.6%)	6%
	777 (29.5%)	869 (29.3%)	12%
	187 (7.1%)	183 (6.2%)	-2%
	-30	-40	-
	458 (17.4%)	439 (14.8%)	-4%
	553 (21.0%)	591 (19.9%)	7%
	467 (17.7%)	454 (15.3%)	-3%
	354 (13.4%)	326 (11.0%)	-8%

152円/163円

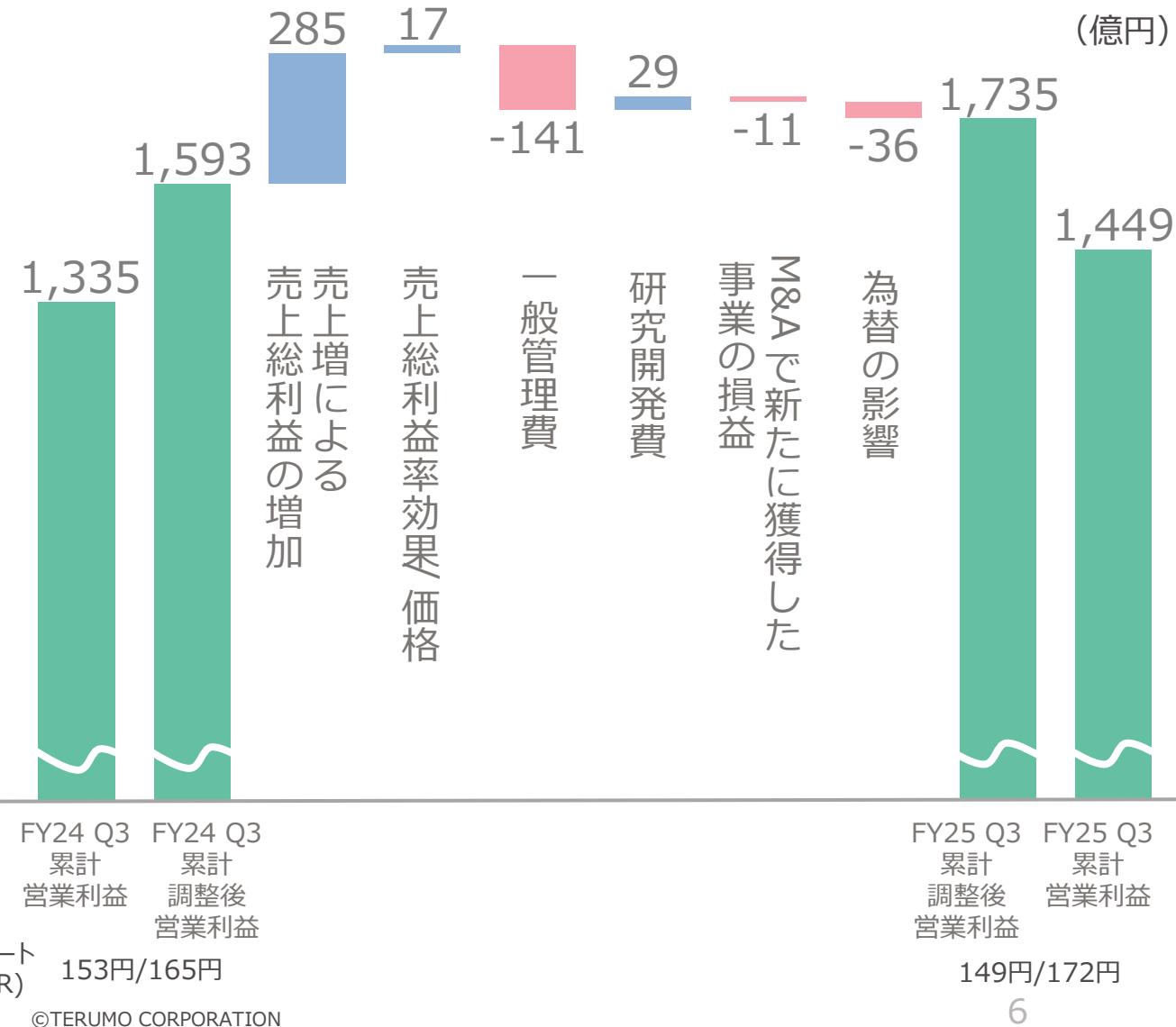
154円/179円



営業利益増減分析 (Q3)：好調な売上により増益



営業利益増減分析 (Q3累計)：好調な売上と価格政策が貢献

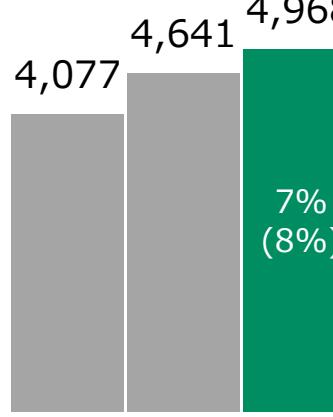
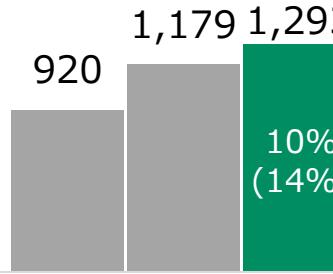


- | 売上増による売上総利益の増加 : TISとGBSが全体を牽引
- | 売上総利益率効果/価格 : C&Vを中心に価格政策が大きく寄与
一方、関税影響が本格化しプラス効果を一部相殺
(主な内訳) 価格 +115億円、関税影響 -70億円
- | 一般管理費 : 事業拡大に伴う増加
- | 研究開発費 : 昨年資産化R&Dの減損を計上した影響もあり、前年比では減少
- | M&Aで新たに獲得した事業の損益 : レバーカーゼン工場の損益 -16億円
OrganOxの損益 +5億円
- | 為替の影響 : フロー -4億円、ストック -32億円

C&V : TISが全体を牽引、北米を中心に伸長を継続

(C&V : 心臓血管)

(億円)

	Q3	Q3累計	コメント	Q3累計 売上増減	
	() 内は為替影響除く				
売上収益	1,420 1,579 1,747 	4,077 4,641 4,968 	TIS インターベンショナルシステムズ TN ニューロ TCV カーディオ バスキュラー	: 北米は全製品領域で為替影響除いて二桁 伸長、物量増加に加えて価格政策も寄与 : 中国ではVBP（集中購買）で販路拡大し、 好調を継続。日本では脳動脈瘤の治療製 品群が好調に推移。 : 海外において伸長を達成し、計画を上回る 推移。価格の見直しによる効果も発現	+226
調整後 営業利益	344 410 423 	920 1,179 1,293 	TA アオルティック 利益	: 人工血管製品群の供給問題の影響がある ものの、ハイブリッド製品の展開は想定通りの 進捗 : 増収と価格政策により二桁伸長で増益を達 成	+63 +26 +12
利益率	24% 26% 24%	23% 25% 26%			

TMCS : PSの売上増が貢献し、増収増益*

(TMCS : メディカルケアソリューションズ)

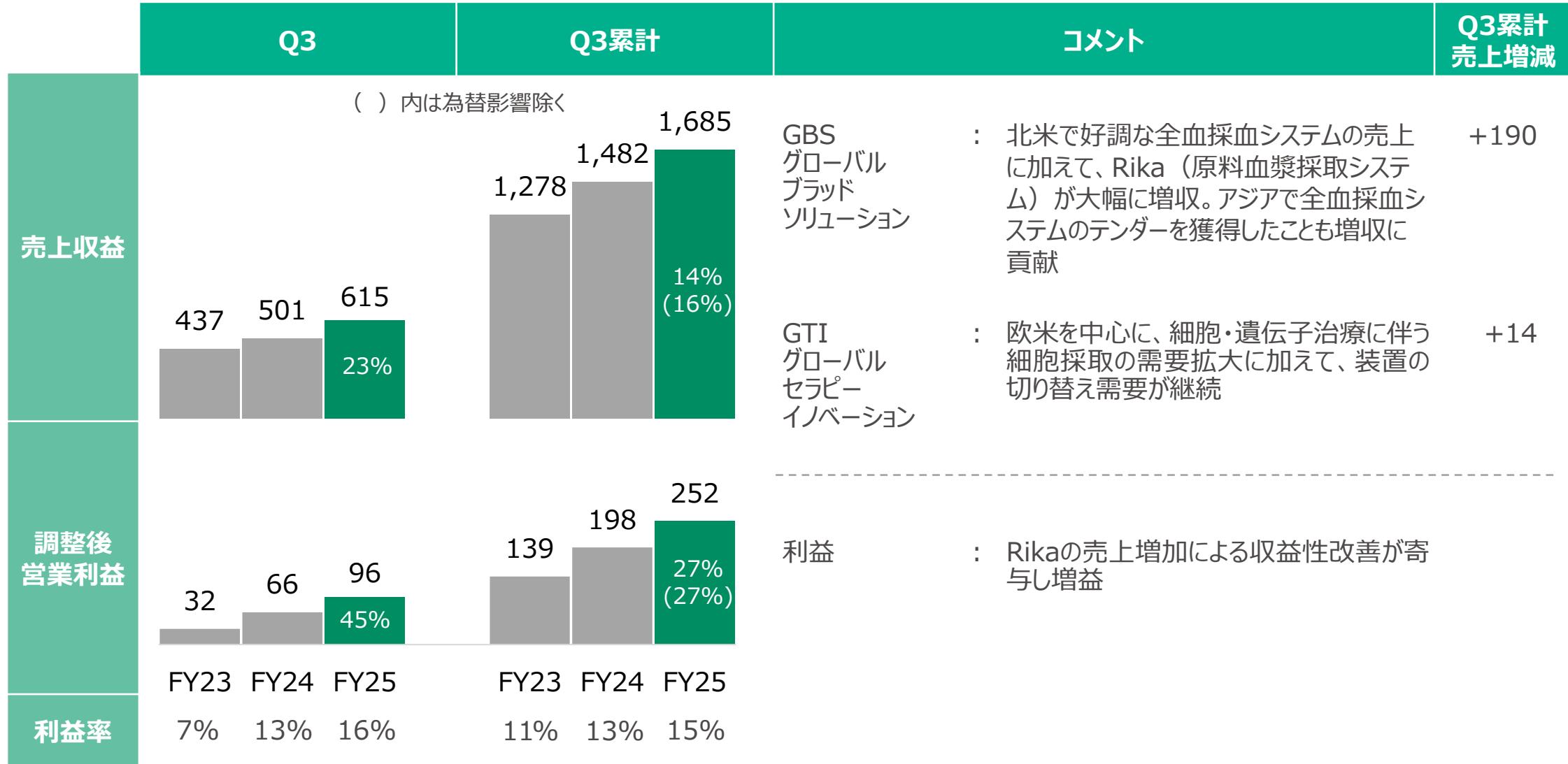
(億円)

	Q3	Q3累計	コメント	Q3累計 売上増減
売上収益	533 555 575 4%	1,473 1,597 1,632 2% (2%)	HCS ホスピタルケア ソリューション : 国内は価格政策が順調に進捗するも、事 業譲渡と一部製品の供給問題を主因に 減収	-12
			LCS ライフケア ソリューション : 国内はSMBG（自己血糖測定）市場の 縮小に伴い減収。海外はアジアを中心に 計画通りの進捗	-4
			PS ファーマシユーティ カルソリューション : 日本におけるCDMO事業で増収。海外で は欧米のPLAJEXが好調	+51
調整後 営業利益	77 65 79 21%	160 192 214 11% (13%)	利益 : 価格政策の効果、費用コントロールにより 増益	
利益率	14% 12% 14%	11% 12% 13%	*レバークーゼン工場の損益を除いて算出 レバークーゼン工場の損益を含めた調整後営業利益は以下の通り Q3 : 62億円 (利益率 11%) Q3累計 : 197億円 (利益率 12%)	

TBCT：血漿イノベーションが売上を牽引、収益性改善にも貢献

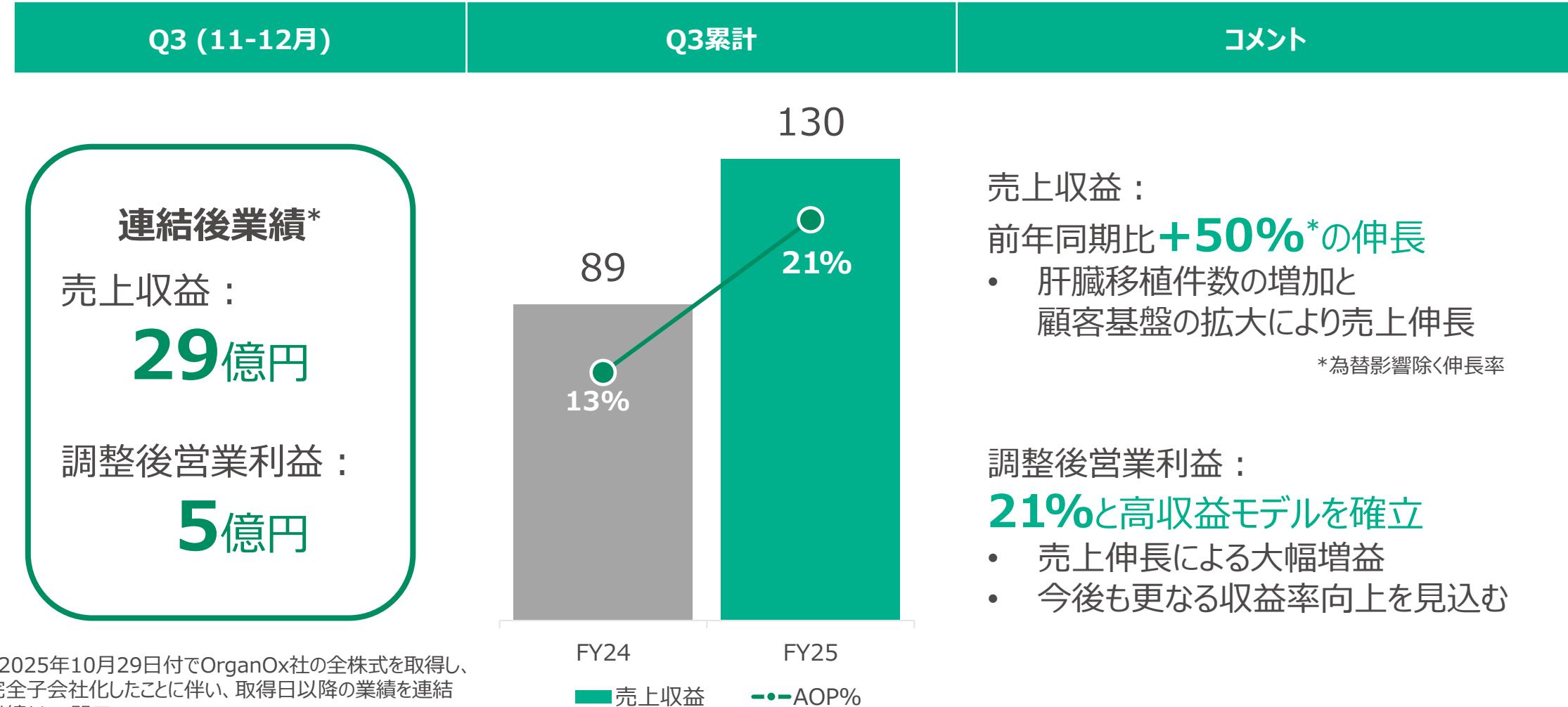
(TBCT：血液・細胞テクノロジー)

(億円)



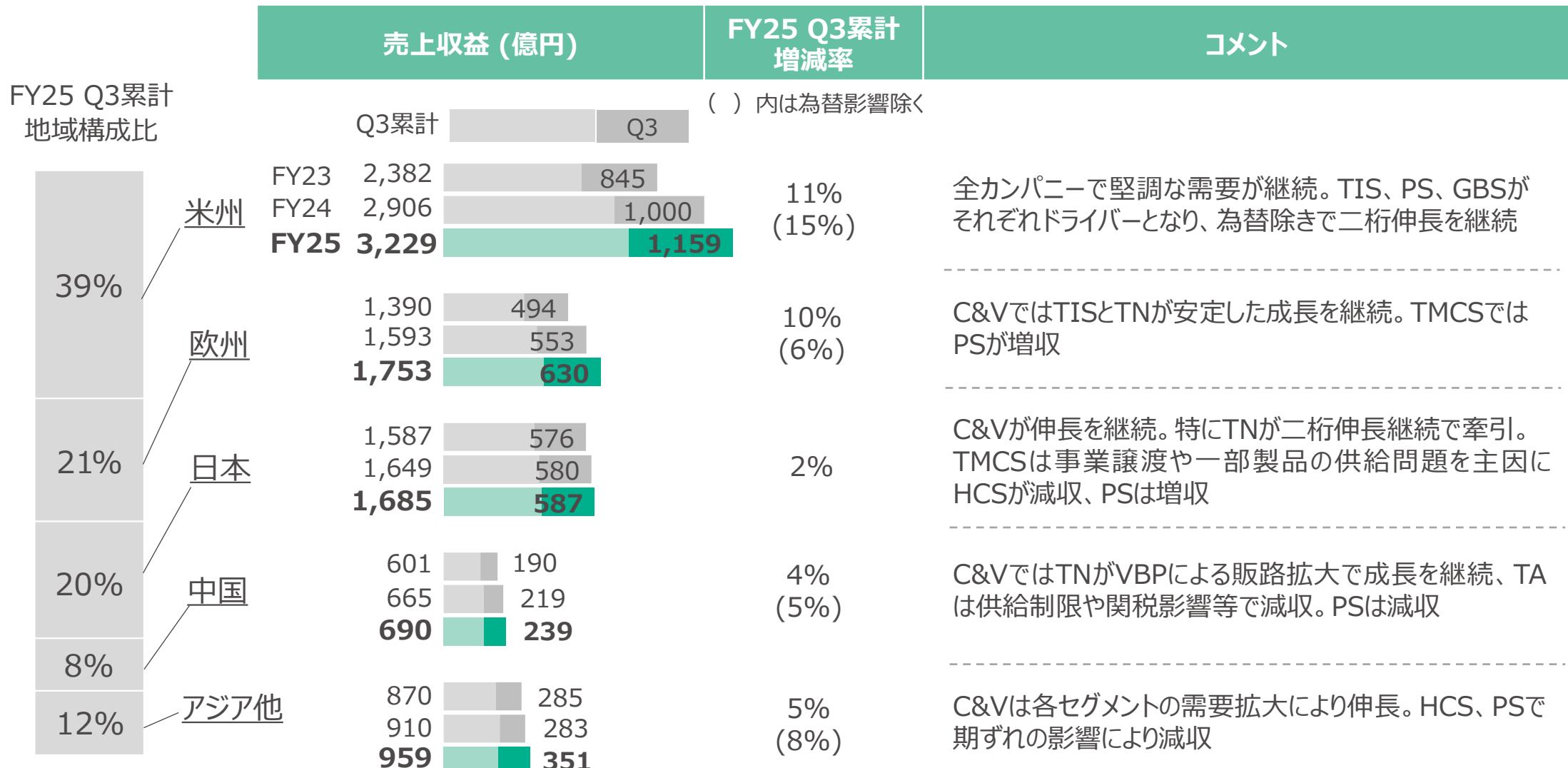
OrganOx：肝移植の増加とシェア拡大による急速な売上成長

(億円)



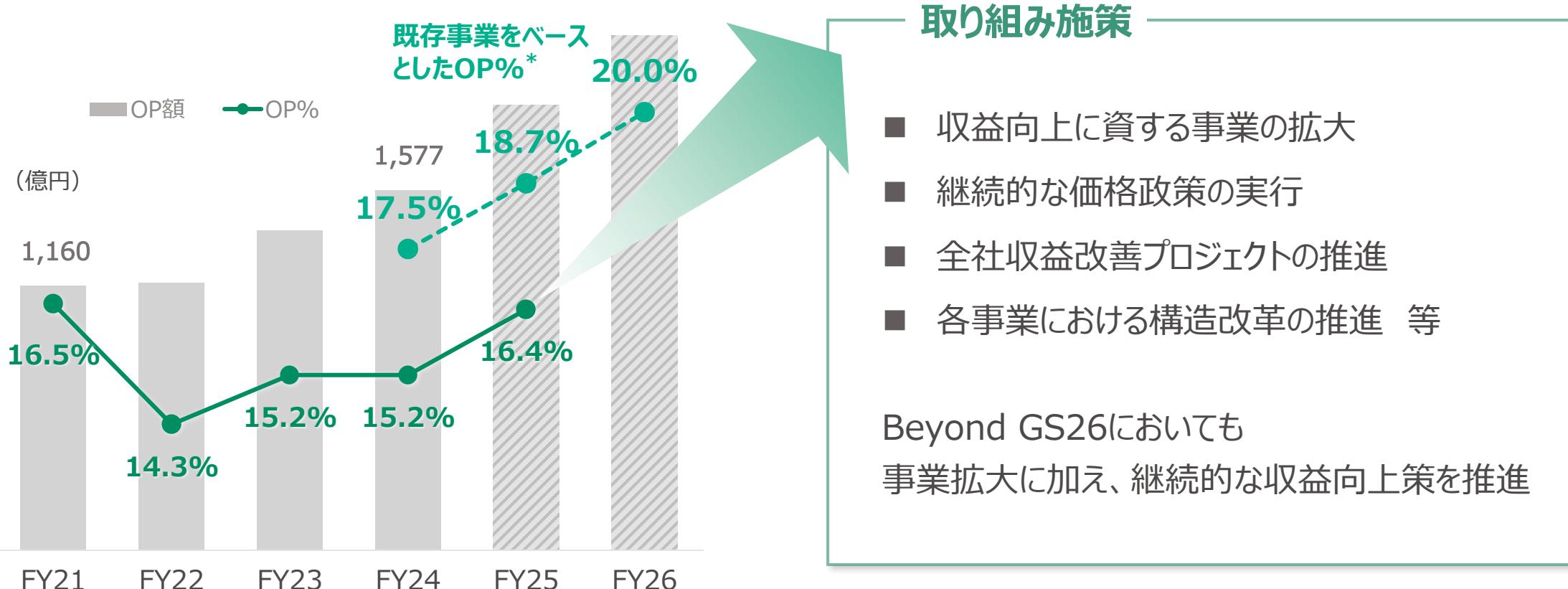
*2025年10月29日付でOrganOx社の全株式を取得し、完全子会社化したことにより、取得日以降の業績を連結業績として開示

地域別売上収益：米州が力強く全体を牽引



FY25/GS26達成 さらにその先に向けて

既存事業をベースとした営業利益率は、FY26の20%に向けて着実に進捗



*買収関連費用（レバーケーゼン工場、OrganOx社を含む）、その他一時費用を除く

參考資料

P&L (四半期推移)

(億円)

	FY24 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上収益	2,636	2,639	2,600	2,750	2,966
売上総利益	1,451 (55.1%)	1,385 (52.5%)	1,455 (56.0%)	1,470 (53.5%)	1,532 (51.6%)
一般管理費	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)	869 (29.3%)
研究開発費	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)	183 (6.2%)
その他収益費用	-30	-138	24	-40	-40
営業利益	458 (17.4%)	242 (9.2%)	559 (21.5%)	451 (16.4%)	439 (14.8%)
調整後営業利益	553 (21.0%)	441 (16.7%)	591 (22.7%)	553 (20.1%)	591 (19.9%)
四半期 平均レート	USD EUR	152円 163円	153円 161円	145円 164円	147円 172円
					154円 179円

販管費（四半期推移）

(億円)

	FY24 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
人件費	406	430	406	421	447
販促費	54	60	55	53	61
物流費	56	57	57	59	58
償却費	70	71	68	70	76
その他	190	200	169	205	228
一般管理費 (売上比率)	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)	869 (29.3%)
研究開発費 (売上比率)	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)	183 (6.2%)
合計 (売上比率)	963 (36.6%)	1,006 (38.1%)	920 (35.4%)	979 (35.6%)	1,053 (35.5%)
四半期 平均レート	USD EUR	152円 163円	153円 161円	145円 164円	147円 172円

販管費（前年同期比）

(億円)

	FY24 Q3累計	FY25 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY24 Q3	FY25 Q3	増減	増減率
人件費	1,188	1,274	86	7%	9%	406	447	41	10%
販促費	153	169	16	10%	11%	54	61	7	12%
物流費	166	173	8	5%	6%	56	58	1	2%
償却費	207	215	7	4%	5%	70	76	6	8%
その他	543	602	59	11%	12%	190	228	39	20%
一般管理費	2,257	2,433	176	8%	9%	777	869	93	12%
(売上比率)	(29.2%)	(29.3%)				(29.5%)	(29.3%)		
研究開発費	554	518	-36	-7%	-6%	187	183	-4	-2%
(売上比率)	(7.2%)	(6.2%)				(7.1%)	(6.2%)		
合計	2,811	2,951	140	5%	6%	963	1,053	89	9%
(売上比率)	(36.4%)	(35.5%)				(36.6%)	(35.5%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY24 Q3累計	FY25 Q3累計	FY24 Q3	FY25 Q3
調整後営業利益	1,593	1,735	553	591
調整① 買収無形資産の償却費	-161	-171	-52	-71
調整② 一時的な損益	-97	-115	-43	-81
営業利益	1,335	1,449	458	439

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整② 「一時的な損益」の主な項目	FY24 Q3累計	FY25 Q3累計
事業再編費用	-79	-14
減損損失	-25	-3
TBCT土地売却益	14	-
独占販売権の契約見直し（減損含む）	-	-79
製薬会社からの損失補償	-	38
その他	-7	-9
OrganOx関連費用		-32
OrganOx在庫ステップアップ費用化（暫定）		-16

調整後営業利益：調整額の四半期推移

(億円)

	FY25 Q1	Q2	Q3	Q4 (想定)	FY26 (想定)
調整後営業利益	591	553	591		
調整①買収無形資産の償却費	-51	-50	-71	-68	
既存の償却費	-51	-50	-60	-52	
OrganOx買収の償却費（暫定）	-	-	-10	-16	-65
調整② 一時的な損益	19	-52	-81		
事業再編費用	-13	-	-1	-50	
減損損失	-	-1	-2		
独占販売権の契約見直し	-	-44	-34		
製薬会社からの損失補償	32	5	-		
その他	-0	-1	-8		
OrganOx関連費用	-	-10	-21	-2	-10*
OrganOx在庫ステップアップ費用化（暫定）	-	-	-16	-24	-70*
営業利益	559	451	439		

*計上はFY26まで

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY22	FY23	FY24	FY25Q3累計	FY25予想
設備投資	758	784	825	715	950
償却費	635	702	781	631	870
買収無形償却費	188	200	210	172	240
それ以外	447	502	571	459	630

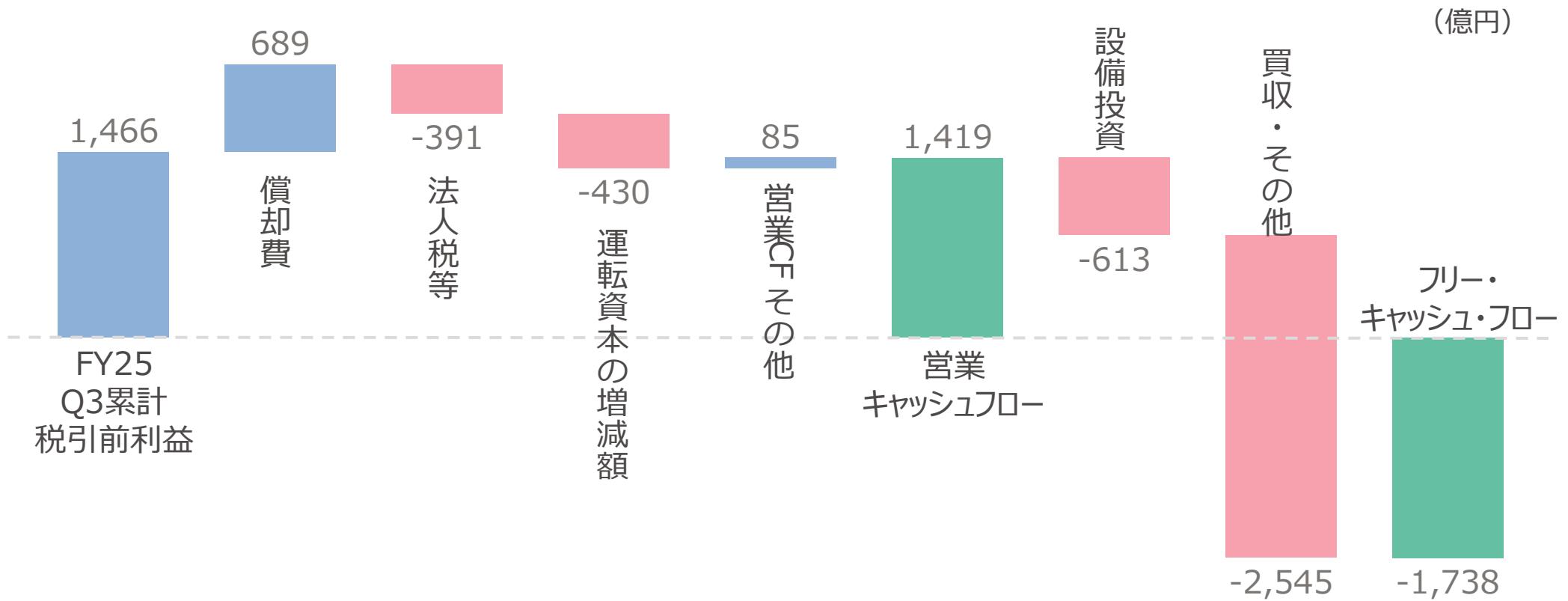
設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

I FY25Q3累計（設備投資：715億円）

CDMO（開発製造受託）等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設他、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

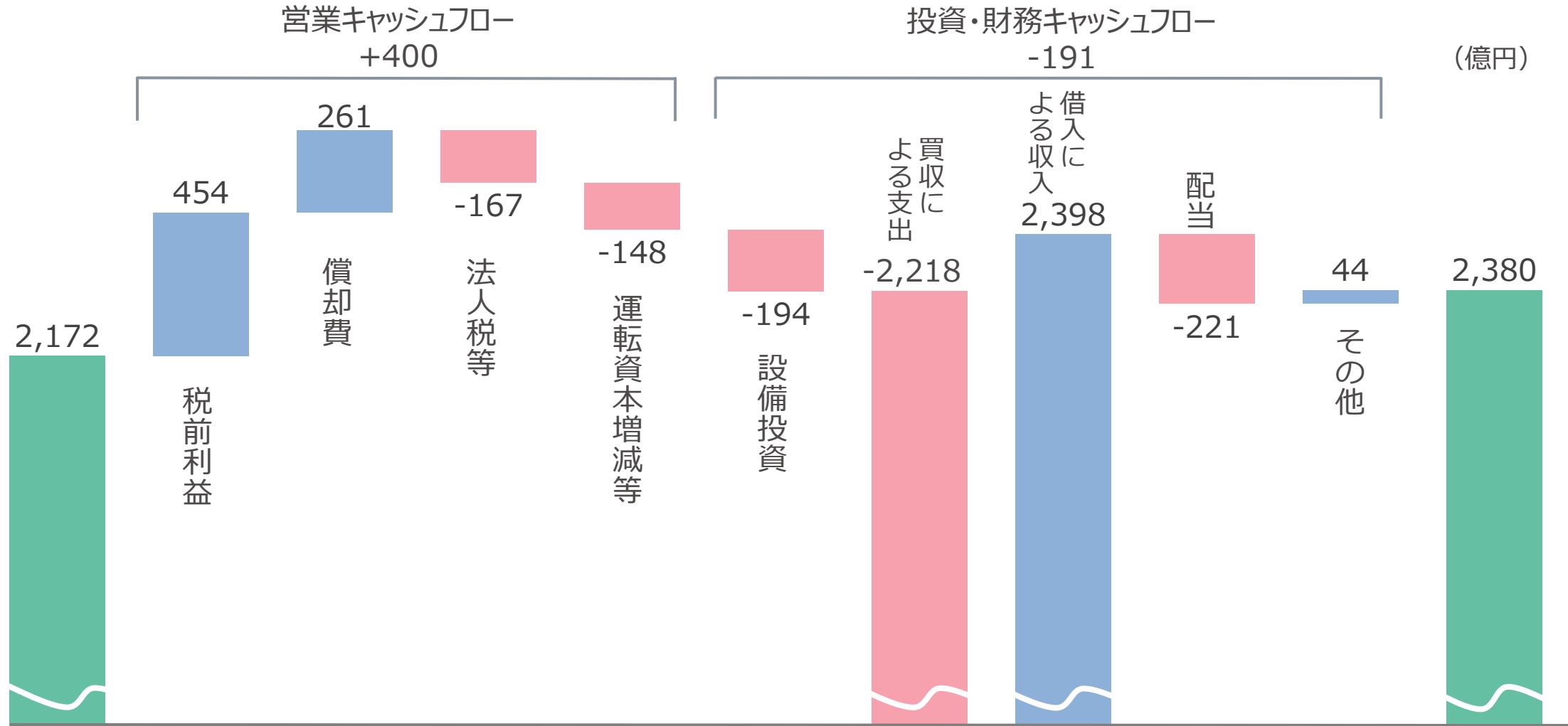
	FY22	FY23	FY24	FY25Q3累計	FY25予想
研究開発費	616	691	742	518	715

フリー・キャッシュ・フロー



前年同期比	+148	+50	+45	-249	-17	-23	-104	-2,550	-2,677
-------	------	-----	-----	------	-----	-----	------	--------	--------

キャッシュフロー（Q3）

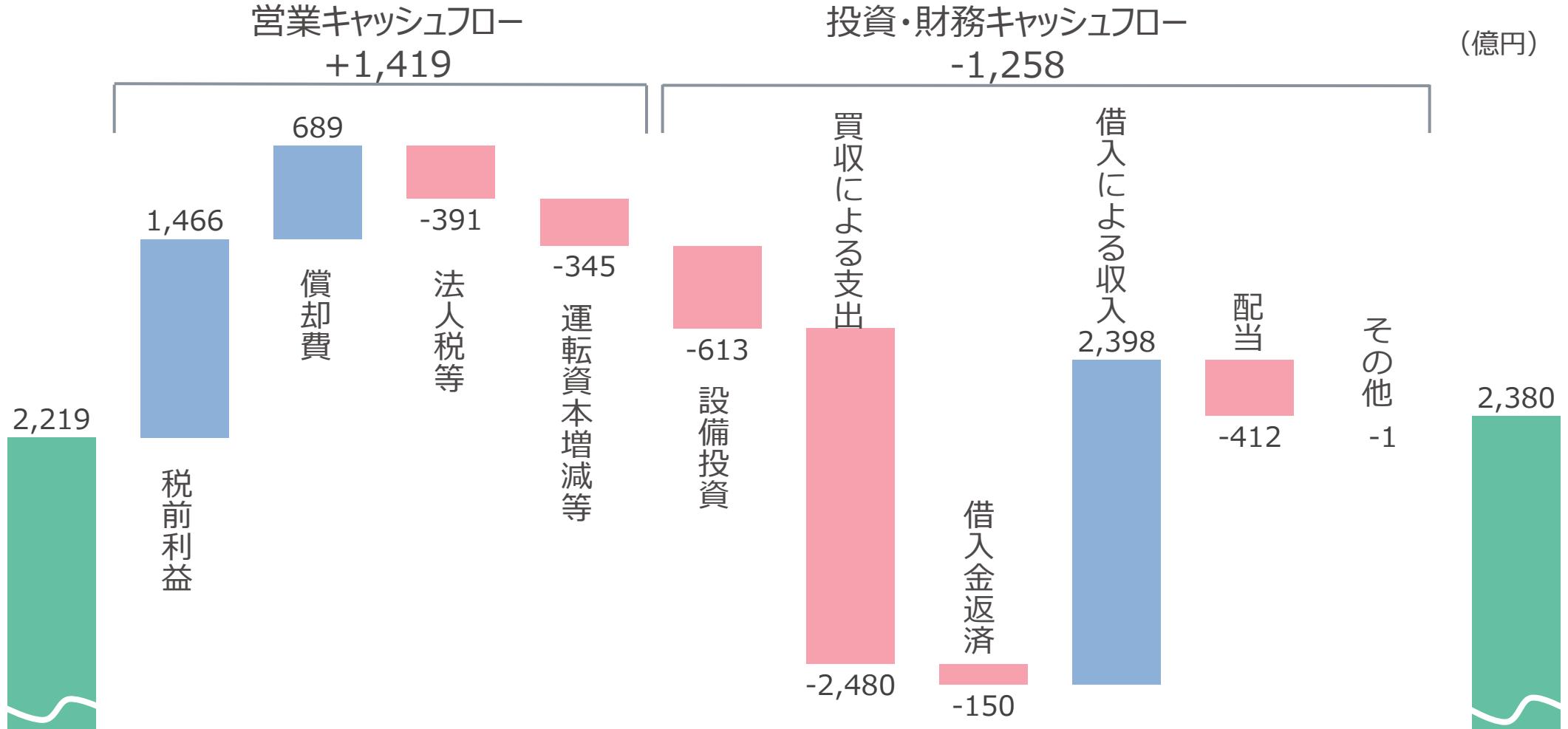


*FY25Q2末
現預金残高

*期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY25Q3末
現預金残高

キャッシュフロー（Q3累計）



* FY24末
現預金残高

*期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY25Q3末
現預金残高

為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額（フロー） (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	28	12	40
調整後営業利益	3	6	23

1円の円安に対しての影響額（ストック） (億円)

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-3.0	-1.0	-2.5

